

ミュージアム コレクション I

アートディレクターの仕事

大貫卓也

と

Museum Collection I

The Work of the Art Director:

ONUKI Takuya and HANAMORI Yasuji

花森安治



2024 7/20 ^土sat → 10/14 ^{月・祝}mon/holiday

主催 | 世田谷美術館(公益財団法人せたがや文化財団) 会場 | 世田谷美術館2階展示室 開館時間 | 10:00~18:00
(入場は17:30まで) 休館日 | 毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なる場合は開館、翌平日休館) * 8月12日(月・祝)、9月16日
(月・祝)、9月23日(月・振休)、10月14日(月・祝)は開館、8月13日(火)、9月17日(火)、9月24日(火)は休館。 観覧料 | 一般200(160)円、
大高生150(120)円、65歳以上/中小生100(80)円 * 障害者の方は100円(80円)。ただし、小・中・高・大学生の障害者は無料。
介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。証明書をご提示のうえ、お申し出ください。*()内は20名以上の団体料金。* 世田谷区
内在住・在校の小・中学生は土、日、祝・休日、夏休み期間は無料。* 同時開催の企画展チケットで本展をご覧いただけます。

写真クレジット: 大貫卓也(撮影:宇田川 淳)、花森安治(写真提供:暮しの手帖社)

世田谷美術館

SETAGAYA ART MUSEUM

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2

TEL:03-3415-6011(代表)

<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>

展覧会のご案内: 050-5541-8600 (ハローダイヤル)

大貫卓也

(1958—)



1



2



3



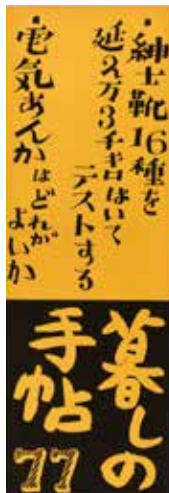
4

Museum Collection I

The Work of the Art Director:
ONUKI Takuya and HANAMORI Yasuji

花森安治

(1911—1978)



5

1 大貫卓也 ポスター《としまえん プール冷えてます》1986年 | CD 宮崎晋・笠原伸介 | AD 大貫卓也、増田秀昭 | C 岡田直也 | I 森本美由紀 | AG 博報堂 | CL 豊島園 2 大貫卓也 ポスター《イエローブック 新潮文庫の100冊》2012年 | AD 大貫卓也 | D 増田圭吾 | I 100%ORANGE | CL 新潮社 3 大貫卓也 ポスター《HIROSHIMA APPEALS 2021》2021年 | AD 大貫卓也 | D 吉岡峻、中橋弘珠 | CL 広島国際文化財団、ヒロシマ平和創造基金、日本グラフィックデザイン協会 4 大貫卓也 新聞広告《としまえん 史上最低の遊園地。》1990年 | CD 宮崎晋 | D 大貫卓也、内田邦隆 | C 岡田直也 | P 狩野毅 | I (ブラシ) 杖村さえ子 | AG 博報堂 | CL 豊島園 ※1 世田谷美術館蔵 2-4 世田谷美術館寄託

*クレジットの略号: CD=Creative Director / AD=Art Director / D=Designer / C=Copywriter / P=Photographer / I=Illustrator / AG=Agency / CL=Client

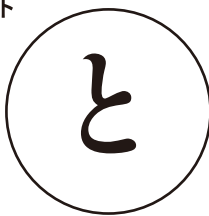
このふたり どこか似ていて おもしろい

本展では、近年収蔵した大貫卓也(1958—)と花森安治(1911—1978)が手掛けたポスターやグラフィック関連資料を中心にご紹介します。

大貫卓也は、広告業界のトップランナーとして活躍する世田谷在住のアートディレクター。広告の常識をくつがえす「としまえん」の仕事で若くして注目され、その後の広告のあり方を変えました。

花森安治は、これまでも雑誌『暮しの手帖』の表紙画やカット画をテーマに紹介してきましたが、同誌の交通広告や新聞広告などについては今回が初めてとなります。

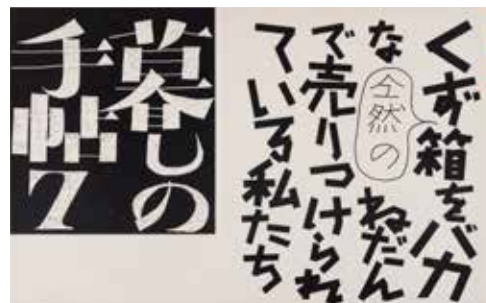
チームを率いて広告の可能性をとことん追求する大貫卓也。デザインからイラストまですべてをこなす花森安治。一見異なるようで共通するふたりのコミュニケーションの考え方、広告表現からその魅力を探ります。



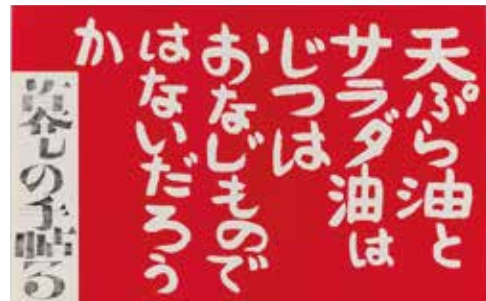
東京帝国大学卒業後、応召、除隊し、大政翼賛会に所属。終戦後、大橋鎮子と出会い『スタイルブック』を発刊。1948年生活総合雑誌『美しい暮しの手帖』を創刊。一貫して広告を入れず、表紙画からカット、レイアウトに至るまで、編集長・花森の美学が貫かれている。新聞広告と雑誌表紙のデザインによりADC賞(第1回・第2回)銅賞。

5 花森安治 ポスター《『暮しの手帖』I 世紀77号書店広告》1964年 6 花森安治 ポスター《『暮しの手帖』II 世紀7号中吊り広告》1970年 7 花森安治 ポスター《『暮しの手帖』II 世紀3号中吊り広告》1969年 8 花森安治 新聞広告(版下)《『暮しの手帖』II 世紀7号》1970年 ※5-8 世田谷美術館蔵

多摩美術大学卒業後、博報堂入社。「としまえん」の仕事で東京ADC賞を受賞。以降、次々と話題作を送り出す。1993年博報堂を退社し大貫デザイン設立。ペプシコーラ、新潮社、資生堂、ソフトバンクなどの広告制作に携わる。「HIROSHIMA APPEALS 2021」で東京ADC賞グランプリ。作品集『Advertising is』ほか。多摩美術大学教授。



6



7



8



世田谷美術館 SETAGAYA ART MUSEUM

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2 TEL. 03-3415-6011(代表)
<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/> 展覧会のご案内: 050-5541-8600(ハローダイヤル)

同時開催企画展 生誕130年 没後60年を越えて 須田国太郎の芸術——三つのまなざし 2024年7月13日(土)～9月8日(日)
生誕130年記念 北川民次展——メキシコから日本へ 2024年9月21日(土)～11月17日(日)

次回収蔵品展 ミュージアム コレクションⅡ かわりゆくもの、かわらないもの——TRANSITION
2024年10月26日(土)～2025年1月13日(月・祝)

- 東急田園都市線「用賀」駅下車 北口から徒歩17分、もしくは美術館行バスA「美術館」下車徒歩3分
- 小田急線「成城学園前」駅下車 南口から渋谷駅行バスB「砧町」下車徒歩10分
- 小田急線「千歳船橋」駅から田園調布駅行バスC「美術館入口」下車徒歩5分
- 来館者専用駐車場(無料、60台)東名高速道路高架下 厚木方面側道400m先。美術館まで徒歩5分

* ご入館に際しては感染症予防のため、手指消毒にご協力ください。館内では十分な距離を保てない場合がありますので、他のお客様へのご配慮をお願いします。

* 展覧会の会期等が、急遽変更や中止となる場合もございます。会期中の最新情報は、美術館ウェブサイト等でお知らせします。